

## 令和元年度第1回いしかわ森林環境基金評価委員会の概要

1. 日 時：令和元年8月9日（金） 10:30~12:00
2. 場 所：石川県庁14階 1408会議室
3. 出席状況：委員9名
4. 議 題：（1）いしかわ森林環境基金事業の概要  
（2）平成30年度の取組実績報告  
（3）令和元年度の事業計画

### 5. 委員会議事要旨（委員の主な意見等）

【委員】現在取り組んでいる事業の対象となる森林以外でも荒廃している森林はあるので、そういった場所にも活用できるよう検討できないか。

【事務局】治山事業や造林補助事業など活用できる事業があるので、まずは市町や林業事業体に相談いただきたい。

【委員】放置竹林を除去しても、翌年度以降また生えてくると思うが、竹が生えなくなるまで伐採するなどの対処は行っているのか。

【事務局】放置竹林の除去後概ね2年間、基金を活用した再生竹の刈払いを実施してきたが、まれに除去しきれない場所があることから、部分的に2年間以降も基金で対応していくこととしている。

【委員】県民、特に子どもたちへの普及啓発などにおいて、森林の公益的機能の発揮が重要であるという教育を、学校現場などでも行われるように市町とも連携して実施することも検討してはどうか。

【事務局】これまでも県主催の普及啓発事業（ソフト事業）において、市町と連携し実施していることから、今後とも連携を続けていくこととしたい。

【委員】普及啓発事業の案内は、県下どのように実施しているのか。県下に普及するような案内をお願いしたい。

【事務局】チラシを作成し、各メディアなどを通じて案内しているほか、小学生が対象の事業については、各市町の教育委員会と連携して案内を行っている。

【委員】新規事業の県産材利用促進対策に係る補助金について、できるだけ簡潔な申請書類となるようお願いしたい。

【事務局】事業者等から書類が煩雑で作りにくいというご指摘もあったので、今年度からは省略できるものは省略し、簡略化に努めたところである。

【委員】集落周辺でのイノシシやクマの出没情報があるので、伐採などの対策を引き続きお願いしたい。

【事務局】イノシシやクマ等の野生獣の被害対策等については、生活環境部自然環境課と農林水産部が連携して取り組んでおり、これからも住民の方々の意見を伺いながら、総合的な対策で取り組んでまいりたい。